

事業所名

放課後デイサービス えんじょいんと

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

15日

法人（事業所）理念	ひとりひとりのカラーをだいに 個別指導、集団療育でお子様の「できた」を繋ぐ					
支援方針	本人の「楽しく」を「得意」に変える 生きていく力を育成する療育を目指す 将来に向けて出来る何かを見つけていく。					
営業時間	14時	30分	17時	40分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの獲得 ADL向上のために生活力を身に付ける。食育 クッキング、買い物実習、手洗い、歯磨き習慣などの生活動作をプログラムに取り入れ、基本的な生活スキルの獲得を目的としていきます。				
	運動・感覚	姿勢と運動動作の向上 室内でのマットなどを利用したプログラムにバランス運動や協調運動を取り入れる。体力作りには、室内で筋力トレーニング、外に出て山登り、マラソン大会などを実施します。感覚統合療法をプログラムに取り入れて五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)をだけでなく固有受容覚、前庭覚の総合的な活用を集団、個別で行っていきます。				
	認知・行動	空間、時間、数等を概念形成の獲得 ホワイトボードに時計付きで本日の予定を細かく書き時間の概念の習得を目指しています。プログラムの時にテープなどを貼り場所の指示を明確にしています。プログラムに認知と行動が結びつくようにゲームや実験にして取り入れています。学習やプログラムの際、姿勢を保持できるようにその児童に合った椅子の高さで学習を行っています。				
	言語コミュニケーション	言語の形成と活用 SSTプログラムを普段児童がしていることなどを寸劇にして見せています。その場面ではどのような声掛けが正しいのかを考える事で コミュニケーションの手段の選択と活用、言葉の受容や表出に繋がっています。お買い物、外食実習など外出プログラムの中では店員さんに声をかける等、コミュニケーションの基礎的能力の向上に繋がっていきます。				
	人間関係社会性	仲間づくりと集団への参加 日々のプログラムの席わけやグループ分けを明確にし、参加出来ない子供が参加していけるようにしています。近所の公園では他の学校の児童との交流、地域のイベントに参加、地域の企業に協力して頂いてのプログラムの実施するなど、人間関係の形成できるように支援しています。				
家族支援	対面での相談支援 ZOOMを利用したの制度説明や相談支援			移行支援		通所支援
地域支援・地域連携	地域の企業に協力して頂いてのプログラムの実施 地域のイベントに参加			職員の質の向上		強度行動障害支援などの資格取得 各種外部研修の参加 日々の会議を通じて職員の支援の仕方の向上
主な行事等	ひなまつり、ハロウィン、クリスマス等季節のイベントの実施 外食実習、季節のクッキングなど					